

Lesson

6 限られたスペースも工夫で広々と。

奥行や開放感を演出しましょう

限られた敷地では門まわりにスペースを取らず、道路からすぐ玄関になってしまうケースも。でも門まわりは家の顔だから、ゆとりが感じられるしつらえにしたいもの。広く見せる演出や、閉鎖的にならない目隠しを考えましょう。

車・自転車・アプローチを
ひとつ屋根の下で兼用

駐車場とアプローチと自転車置き場を仕切らずに兼用し、ゆったり空間に。ファサードいっぱい「M.シェード」で屋根を設け、柱を外に逃がしているため、歩行や車の出し入れの邪魔にならず、広々と使えます。屋根は建物のきわまで来ているので、雨の日でも車から玄関まで濡れずに行き来できて便利です。



(T様邸)

ファサードを斜めにとって
玄関までの距離を長く

門から玄関までの距離を長く見せることで、限られたスペースでもゆったり感のある門まわりを演出できます。このお宅は角地をうまく利用して、アプローチ～玄関を対角線上に設置。実際よりも距離が長く、奥行が深く感じられます。シルバー色のたて格子でやさしく仕切り、オープン感覚のファサードに。



(O様邸)

玄関まわりを目隠して
小さな落ち着いたスペースに

ファサードのスペースが限られ、道路から玄関が丸見えの場合はこんな解決法も。このお宅では、玄関前に「M.グローリア」のスクリーンを設置。繊細な横格子と明るい屋根が開放感を保ちつつ、道路からの視線をさりげなく抑えて、玄関に落ち着きをもたらしています。屋根のおかげで雨の日の出入りも快適。



(H様邸)

Column 必要な機能をコンパクトに集めた「機能門柱」は要チェック!

門まわりにあまりスペースが取れない場合や、オープンファサードの家におすすめなのが、「機能門柱」や「機能ボール」。スリムで省スペースな門柱に、

表札・ポスト・インターホン・照明などの機能を集めたものです。シンプルな洗練デザインで、さまざまなタイプがあり、敷地条件やご予算に合わせて選べます。



セレージュ...詳細はP.180



アクセンティア...詳細はP.179



エスポ1型...詳細はP.191